

発 言 者	発 言 内 容
1. 開 会	
【事務局】	・ただいまより令和7年度第3回龍ヶ崎市都市計画審議会を開会する。
2. 挨拶	
【会長】	◇挨拶
【事務局】	◇配布資料の確認 I. 事前配布資料 1 会議次第 2 (資料1) 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について 3 (資料2) 評価書 4 (資料3) 診断結果(C票) 5 (資料4) まちづくりの健康診断について II. 本日本配布資料 6 委員名簿
【事務局】	・藤木委員に代わり石引委員が選出されたことを報告する。
3. 議 題	
【事務局】	・議事に入る。 ・議事の進行は、当審議会条例第7条第2項に基づき、会長が議長となることとなっているため、会長に議長をお願いする。
【議長】	・出席委員の確認について、事務局より報告をお願いする。
【事務局】	・委員総数19名の内、出席者13名、欠席者6名。よって、出席者が委員の過半数に達していることを報告する。
【議長】	・過半数に達している為、審議会条例第7条第3項の規定に基づき、会議が成立することを確認。 ・傍聴の希望があったので、これを許可している。 ・会議録の作成方法と、会議録署名人について事務局より説明をお願いする。
【事務局】	◇会議録の作成方法、会議録署名人について説明
【議長】	・会議録署名人について、1号委員から1名、市民公募の委員から1名選出することとし、名簿の記載順より、菅生委員と天谷委員にお願いしたい。 →両名了承
報告第1号 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について	
【議長】	・議事に入る。 ・報告第1号 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について、事務局より説明をお願いする。
【事務局】	◇龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について説明
【議長】	・事務局から説明があったが、ご意見、ご質問はあるか。
【関口委員】	・西部出張所が市民窓口ステーションに統合される予定だが、誘導施設の立地割合の各拠点に位置付けた種類数については、24種類から23種類へ変更になるのか、それとも24種類のままなのか。それにより目標分母に変動があるのではないか。

【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の西部出張所は佐貫市街地の範囲外に立地しているため、今回の統合によって計画上の施設立地状況に変化はない。 ・今後も佐貫市街地に行政施設を誘導するかについては、現時点で結論は出せないが、来年度に新たな最上位計画のうち後期基本計画の策定が予定されているため、その中で整理される結果を踏まえて検討していくこととなる。
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見、ご質問等はあるか。
【山田委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・P D C Aサイクルの中で現在Cのチェックが終わり、Aのアクションへ入っていくとおもうがこの都市計画審議会の位置づけを確認したい。 ・人口減少に伴う空家問題についてどのように対処していく予定か。 ・牛久沼の開発の評価について記載が無いがどのようになっているのか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・最上位計画の後期基本計画策定後、令和9年度に立地適正化計画の改定を予定している。改定にあたっては評価の方向や策定の途中経過を都市計画審議会に適宜報告していく形になる。 ・空き家の計画については、法律の改正も多々されているが、現在も全国的に問題となっている。本市は空き家対策の検討の計画があるため、そちらに沿って事業を進めていき立地適正化計画で評価を行っている。 ・牛久沼の開発の評価については、都市計画マスタープランで現状や今後についての記載を行うが、立地適正化計画には直接関係はしていないため評価などの記載はない。
【山田委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・この立地適正化計画の評価というのは、都市計画課が全て評価をした結果なのか、各課から上がってきたものを取りまとめたものなのか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの評価を基に都市計画課でとりまとめ、その後各担当課へ確認している。質疑等があればヒアリング等を行ったうえで策定した。
【根本委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・評価がA～Dまでであるがその評価基準の算定、どのようにしてA～Dまで割り当てているのか教えてほしい。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の評価については20年計画のものに対して5、6年しか経過していないものをパーセンテージなどで表すのは難しい。そのため今回の評価では簡易的にA～Dという形で評価を行っている。
【根本委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚的なものになると妥当性を欠くのではないか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の時期や事業の種類が異なるものについて同一線上での評価を行うことは難しいと考えている。
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の中の「概ね」という部分については感覚的なものになるが、基本的には数値目標や成果目標が基準にはなっていると思われる。 ・他にご意見、ご質問等はあるか。
【大竹委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎市の将来人口推計が、平成27年度推計より、令和2年度推計が良くなっているがその要因は何なのか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・これは「国勢調査」の結果と「国立社会保障・人口問題研究所」の人口推計のデータを掲載している。人口減少や高齢化が緩やかになった要因としては、「外国人居住者が平成27年度の推計時より増加しているため」と公表されている。
【天谷委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・この龍ヶ崎市の指標は分かったが、他市町村の状況はどうなっているのか。

【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村の状況などについては、次に報告する「まちづくり健康診断」で説明するが、近隣の市町村でいうと牛久市や阿見町の他に、つくばエクスプレス線沿いの市町村は人口が増加傾向にある。
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見、ご質問等はあるか。
【秋山委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか再生ワークショップを複数回開催」とあるが、協議内容や結論はどうなったのか、わかれば教えてもらいたい。 ・先程もあったが、人口減少が緩やかになっている要因の1つとして外国人の増加があげられている。その中で違法建築やごみの出し方が多く目に付く。違法建築については既に何件か市へ相談していて、ごみ出しについては何度か直接注意を行った。外国人の方とも共にいいまちづくりをできればいいなと思う。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか再生ワークショップ」については担当課が別になるため詳細までは把握して無いが、市民の方々が集まり旧市街を中心にまちづくりについて議論する場となっている。その中で実施されたイベントとして「レトロな街中で仮装してたのしむ」というものが市公式HPで公表されている。 ・ごみの出し方については、各国によって環境やルールが異なるという面から課題としてあがっている。そのため外国人向けの多言語パンフレットを作成し、都度リニューアルしながら適正なごみの排出を呼びかけている。
【秋山委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの件について以前担当課へ相談した際に「外国人向けのパンフレットを持っていてください」と言われた。どこの国籍の方なのかわからないためそれは難しい。
【石引委員】	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの件は不動産会社や外国人を雇用している事業主の協力は必須になると思う。 ・今後、町医者の高齢化などによる閉院等が増加する可能性があるが、そうすると医療施設の徒歩圏人口カバー率が急低下するのではないか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設担当の政策にはなるが、間違いなく今後医師の確保というのは重要な課題になると思われる。
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見、ご質問等はあるか。
【廣瀬委員代理：野村氏】	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の指標が出ているが、現在の経営状況について物価高騰や人員不足により様々な課題を抱えている。今後もより良い公共交通にするため、引き続き課題の改善に努める。
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見、ご質問等はあるか。 ・無いようであれば、報告第1号 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価については原案のとおり公表するという事によろしいか。 →異議なし ・異議なしとのことなので、報告第1号 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について公表の手続きを進めていただく。
報告第2号 国土交通省「まちづくりの健康診断」について	
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・報告第2号 国土交通省「まちづくりの健康診断」について事務局より説明をお願いします。
【事務局】	◇ 報告第2号 龍ヶ崎市立地適正化計画の評価について説明
【議長】	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明があったが、ご意見、ご質問はあるか。

【大竹委員】	・人口減少や財源の問題がある中で、広域化を目的とした公共交通というのはどのように検討しているか。
【事務局】	・現在本市では広域的な運行は行っていないが、今後限られた財源で効率的な運行というのも視野にいれて検討していく必要がある。
【大竹委員】	・牛久沼の利活用や、アンケート調査を行うなどをして龍ヶ崎市の特徴を生かした公共交通を検討してほしい。
【事務局】	・牛久沼の利活用についても今後重要となることは承知している。更にその際のアクセス確保などの公共交通を充実させる検討をしていく必要がある。
【議長】	・龍ヶ崎市には牛久沼などの魅力的なものが多い。それを生かしていけるよう今後検討していただきたい。 ・他にご意見、ご質問等はあるか。 ・ないようであれば、報告第2号 国土交通省「まちづくりの健康診断」については以上とさせていただきます。
4. その他	
【議長】	◇以上で、本日の議題は終了となるが事務局より何かあるか。
【事務局】	◇現在進めている川崎町北部地区の都市計画決定の進捗及び今後の手続きについて説明。 ・令和8年1月5日から15日にかけて公述申出を行ったが、公述申出が無かったため1月22日に予定していた公聴会は中止。 ・今後は5月に縦覧、6月に都市計画審議会にて諮問する予定。 ・現在下水道課で下水道全体計画の見直しを行っており、公共下水道排水区域を変更する都市計画の決定が必要となる。県と下協議を行っており、終了後4月頃住民説明会を開催する予定。
5. 閉会	
【議長】	・事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等はあるか。 ・無いようであれば、以上で令和7年度第3回龍ヶ崎市都市計画審議会を終了とする。
令和 年 月 日	
会議録署名人	
令和 年 月 日	
会議録署名人	